



## 健康診断やがん検診を 活用して健康管理をしましょう。

調査から分かったこと 若年者の受診率が震災前より低迷

ヘルスケアのポイント 生活が落ち着いたら検診を受診しよう

災害後は、生活の再建に精一杯で、健康管理がおろそかになってしまう場合があります。東日本大震災の被災地域で婦人科検診受診率を調査したところ、若年者の受診率が震災前より低迷していることがわかりました。生活が落ち着いてきたら、これまで通り、必ず健康診断やがん検診などを受けましょう。

(受診率) 若年層の子宮がん検診の受診率 ※20歳から49歳を対象に調査  
25% —————

一部地域の受診率は、震災の年より低迷

